

丸岡九華 きくわ 詩人、小説家。慶應元年江戸生れ、昭和二年七月九日歿（二八五―一九七）。本名久之助。筆名をかざる、九、九花、九華、作者不知、啾々、對岳翁、山茶花、延春亭、延春亭主人、春のやかほる、春のやかほる、春のやかざる、春のや主人、春之屋薫、春乃全薫、春亭、春亭九花、春廬家かほる、春廬家主人、春廬家薫、春廬屋桂堂、春廬屋薫、春廬全かほる、春廬全薫、桂堂、梅のやかざる、梅の全薫、梅廬家、磯川九華、磯川對岳翁、磯川魔王、關九華、X-Y-Z、X-Y-Z氏等。高等商業學校卒業後實業界に入る。明治十八年尾崎紅葉、山田美妙、石橋思葉等と硯友社を結成し、機關誌「我樂多文庫」に小説、新體詩を發表。

著書「新體詩選」（延春亭主人・梅廬家・延春亭・梅のやかざる・かざる名、合著・山田武太郎編、明治十九年八月）「百香雲書屋」、「花間笑話」（磯川九華名、

前田次郎編、明治二十六年七月十日春陽堂「園藝文庫」別卷）等。